

2016年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科・電気電子工学科・建築・デザイン学科・情報学科・経営ビジネス学科						
科目名	英語IV						
科目区分	教養教育科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	肥川 絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の基礎レベルの語彙、文法、用法を理解し、使用することができる。 ・基礎レベルの英語を読んで理解することができる。 ・基礎レベルの英語を用いて文章が書ける。 						
日程と内容	第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回 Unit 1 What Do You Like to Do? 第3回 Unit 2 What Does She Look Like? 第4回 Unit 3 I Bought New Shoes! 第5回 Unit 4 What's the Coldest Place on Earth? 第6回 Unit 5 Are Cats Better Pets Than Dogs? 第7回 Unit 6 I Really Like Electronic Music! 第8回 中間まとめ 第9回 Unit 7 What's for Dinner? 第10回 Unit 8 You Should See a Doctor! 第11回 Unit 9 I Often Skate After School. 第12回 Unit 10 How Do You Get to the Mall? 第13回 Unit 11 What Were You Doing? 第14回 Unit 12 We're Going to Volunteer! 第15回 後半まとめ 定期試験						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	20%	小テスト・積極的参加	20%			
	演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	レベル別クラスの最下位であるが、積極的に取り組んでいる。2回に1度はwritingを課題として出している。テキストのreading sectionで、読解力も養っている。例えば、クラスの多くの学生が、設問のキーワードを本文中に見つけ解にたどり着くことができるようになった。これは、be動詞もわからなかった学生でほぼ構成されているこのクラスでは、大きな進歩である。このことから、目標は概ね達成できていると思う。						
反省点	運動部の学生が多いため、活気のあるクラスである。それ故に、おしゃべりも多くなる。前期に比べ、大事な時のおしゃべりは幾分減少してきているが、この兼ね合い、バランスをうまくとっていききたい。更に、英語が身近なものとなるように配慮したい。						
来年度の計画	小学生から英語が導入され、英語での授業も中学・高校で行われていく流れの中で、基本的なことを大切にしながらも、英語を通して得られる知を学生が獲得できるよう、知的刺激を与えていきたい。10年後、15年後を見据えた英語力を付けてもらいたい。そして多様性をもった文化への理解力も高めたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	毎回授業の初めに小テストを行い、それに基づいた問題を50%ほど、臨時試験・定期試験に提出することになっている。また、必修課題として、英語の本を読んだり、英語のTVやラジオ・プログラムを見たりといったことにも挑戦してもらっている。したがって、真面目に学習をしている学生にとっては、英語学習への達成感が高いものと思う。授業評価は概ね良い評価をうけた。「先生とコミュニケーションがとれた」や「わからないところがあれば、わかりやすく教えてもらいとても助かった」「楽しかった」等というコメントは教える立場としても励みになるものである。						
履修登録者数	42名	定期試験 受験者数	41名	合格者数	38名	合格率	93%